

地域女性活躍推進交付金実績報告書(市町村分)

市町村名:福島県福島市

1. 事業名	女性活躍応援事業
2. 実施期間	令和4年4月1日 ~ 令和5年3月31日
3. 事業の趣旨・目的	<p>福島市総合計画(令和3年度～)では人口減少・少子高齢化の進行が課題とされており、これに関する施策展開として子育て、就職(雇用)があげられている。個別施策「男女共同参画・人権尊重の推進」「就労支援と雇用の創出」における女性の活躍や就労支援として次の取り組みを行いたいと考える。</p> <p>&lt;女性のキャリアアップ、活躍の場の確保&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・働きやすい環境や仕組みを学ぶと共に、キャリアアップ、キャリア・デザインの実現、ダイバーシティの考え方を育成する。</li> <li>・家事、育児、介護など様々な状況下での女性活躍の場の一つとして「起業」に焦点をあて、起業することへのアイデア作り、女性起業家などのネットワーク形成や活躍する女性のロールモデル情報を提供する。</li> <li>・結婚や出産、介護などで離職した女性が再就職をする際に知っておきたい知識を身につける。</li> </ul> <p>&lt;女性の就労支援&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・働く女性を応援する企業に対して、福島市独自の認証制度を設けて、女性の雇用継続、管理職登用の推進、仕事と子育て・家庭生活が両立できる環境づくりを推進する。</li> </ul>
4. 事業内容	<p>①みんなの活躍応援事業 企業・団体等で働く方を対象にワーク・ライフ・バランスの実現に向けた講座を開催した。働く女性応援認証企業、包括連携協定企業と連携し、女性の活躍、ダイバーシティの考え方、自分らしく働くことの意義を伝え、また、異業種による情報交換や交流を通じて、他社の取り組みを学んだり、職場の課題の発見と共有や解決策を考えることができた。</p> <p>②女性の起業チャレンジ応援事業 女性活躍の場を広げるため、創業支援機関や市商工部門と連携し、起業の基礎知識を学んだり、女性起業家とのネットワーク形成など、起業について初心者向けの講座を開催した。さらに、起業相談や起業体験ができる機会を作り、講座受講後も継続的にサポートできる仕組みを作った。</p> <p>③働く女性応援企業認証事業 働く女性の職場環境を改善し、働く女性がより高いポテンシャルを發揮できるよう、女性が働きやすい職場環境づくりに取り組む企業を福島市独自の認証制度において認証する。また、認証事業推進コーディネーターによる企業訪問を行い、女性の雇用等に関する課題解決に努め、誰もが働きやすい職場環境づくりを推進する。</p> <p>④そろそろ働きたい女性のための就活準備セミナー 結婚や出産、介護などで離職した女性向けの就活準備セミナーを開催し、不安を軽減し再就職へと繋げる。</p>
5. 事業効果及び効果検証の概要	<p>①他社の制度や問題点を知ったり、さらに他社と比較することによって自社の職場環境についても気づききっかけとなった。また、発表内容を基に各種ツールを活用して業務の見える化や属人化の解消に向けた取り組みが進んでいる企業もあった。(効果検証:受講アンケート、追跡調査)</p> <p>②起業講座終了後には、先輩起業家や参加者同士の交流が続いたり、創業支援施設「インキュベートルーム」へ相談する方もいたことから、本事業をきっかけに起業実現、女性活躍に向けて一歩前進することができた。(効果検証:受講アンケート、追跡調査)</p> <p>③認証企業やその取組内容等を公表・周知することで、企業のイメージアップや地域社会への波及を促すことができた。(効果検証:認証企業数、受講アンケート、女性の管理職割合)</p> <p>④出産・育児等によるブランクから再就職に不安を感じている参加者も多かったが、セミナー受講により不安軽減と再就職へのきっかけづくりを行うことができた。また、ハローワークとも連携し女性の再就職支援を行うことができた。(効果検証:受講アンケート)</p>
6. 目標達成度及び達成状況に対する評価	<p>①受講者数について、当初の目標値(30名)に対し、新型コロナウイルス感染症の影響により、14名の参加であったが、最終回の発表会では、受講生の上司など(15名)に聴講いただき、内容の感想や評価を受けた。具体的には、解決策のよかった点や実践するためのアドバイスをいただくことができたため、問題意識の共有を図る機会となった。また、発表内容は市HPやSNSで公開し、業種を超えた企業の課題や取り組みについて全市的に共有することができた。</p> <p>②定員を超える申込みがあるほど、女性の起業支援の必要性が高まっている。受講生を対象に講座参加後におこなった行動調査では、回答者の約9割(15名)が相談や勉強、機材等の準備など次のステップに向けて行動を起こしており、起業にチャレンジしたい女性を入門から支援することで、女性の活躍の場を広げる機会となった。</p> <p>③新規認証企業数目標10社に対して12社の認証を行った。目標を上回る新規企業を認証し、さらにゴールド企業4社の認証を行い、認証企業やその取組内容等を公表し、企業のイメージアップや地域社会への波及を促した。</p> <p>④就活準備セミナー参加者数は25名であり、目標には及ばなかった。(目標:セミナー参加者50名)しかし、セミナー参加者へ行ったアンケート調査では、回答者の約80%がセミナーに参加したことにより、働くことに前向きになった又は実際に仕事探しをする気になったと回答し、セミナー開催により不安軽減・きっかけづくりを行うことができた。</p>
7. 今後の課題	<p>①誰もが活躍できる働きやすい職場環境の実現に向けて、管理職や経営者への働きかけを進めていく必要がある。</p> <p>②起業を目指す方へきめ細かいサポートができるよう、今年度の初級者向けに加え、今後は中級者向けの講座や、プチインターンシップ受け入れ回数の増加、お試しワンデー起業の規模拡大など、起業実現に向けた支援を充実していく必要がある。</p> <p>③認証事業の認知度を上げ、企業の取り組み内容を広く発信することで市内企業への波及効果を更に高め、また、求職者から選ばれる企業となることを目指すため、認証事業に関する情報発信の方法を検討する必要がある。</p> <p>④今年度実施のセミナーは再就職を目指す女性を主な対象としていたが、女性が抱えている状況や課題は多岐にわたっており、多様な側面から支援する必要があるものの、市内女性のニーズを把握しきれていない。</p>
8. 事業の実施体制	<ul style="list-style-type: none"> <li>・福島商工会議所(中小企業診断士)、福島労働局、ハローワーク福島</li> <li>・包括連携協定企業(東邦銀行、福島信用金庫、あいおいニッセイ同和損害保険)</li> <li>・ふくしま田園中枢都市圏(福島市、二本松市、伊達市、本宮市、桑折町、国見町、川俣町、大玉村、飯舘村)</li> <li>・福島市働く女性応援認証企業</li> </ul>

